

上皮成長因子受容体(epidermal growth factor receptor: EGFR)遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者の治療実態調査

2015年5月25日作成 ver1.0

2015年7月9日作成 ver1.1

研究対象：

2008年1月から2012年12月までに国立がん研究センター中央病院を含む調査実施施設において進行・再発のEGFR遺伝子変異陽性非小細胞がんに対して初回治療を開始した方々の診療録を対象とします。

研究の概要：

進行非小細胞肺癌の一種の肺腺がん患者さんに、EGFRの遺伝子変異が認められます。EGFRチロシンキナーゼ阻害薬(EGFR-TKI)は、従来の化学療法と比較して病気の進行を抑制する効果があります。本研究では、EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者さんの中で、EGFR-TKIで治療をされた方々を対象に、患者さんの背景、治療経過を調査することです。

研究の意義：

この研究によってEGFR遺伝子変異陽性の非小細胞肺癌患者さんの治療状況やその後の経過を把握することができ、今後の日常診療への参考とすることができます。

目的：

本研究の目的は、EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者さんの中で、EGFR-TKIで治療をされた方々の治療実態を明らかにするところにあります。この研究の成果が肺癌診療にかかわる医師や患者さんに広く利用され、効果的な治療を進める一助になると考えております。

方法：

本研究は、国立がん研究センター中央病院を含む全国の肺癌治療の専門病院やがん診療連携拠点病院を中心に、診療情報を収集する形式で行われます。研究担当の医師が対象となる患者さんの診療録より、患者さんの背景や治療内容、経過について必要な情報を収集します。

個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が入りますが、患者さん個人が特定されない方法で情報収集を行います。対象となる患者さんの識別は本研究専用の別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも下記連絡先まで申し出てください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科 吉田 和史

TEL 03-3542-2511

FAX 03-3542-3815